

企画展案内

ファイバー・アート — 糸と布の可能性 —

会 期 2月6日(土)～3月21日(日) 会 場 県立美術館 企画展示室

1960年代、現代的な新しいタピストリーを追求するなかでファイバー・アートは誕生しました。織りの技法や素材を駆使しながら自由な構成体や空間を模索するその繊維の新しい造形は、70年代日本でも盛んに行われ、繊細な感性と斬新な造形感覚を持った多くの作家を輩出し、海外から高く評価されました。その後、染めや絵画、彫刻といった他の分野からの参加や、使用される素材や技法の拡大によって多岐多様な表現が活発に行われるようになり、今や現代美術の大きな可能性を内在する分野として急速に注目を集めるようになっていきます。

本展は、ファイバー・アートの旗手としてその最前線を担ってきた作家13名の近作・新作を展示し、各々の作家が糸と布の造形の可能性を引き出すためにどのような視点から取り組んでいるかを概観しようとするものです。糸、布、織り、彫刻と大きく特色づけられた各展示室いっぱいに拡がる作品からは、現代の息吹が伝わってきます。

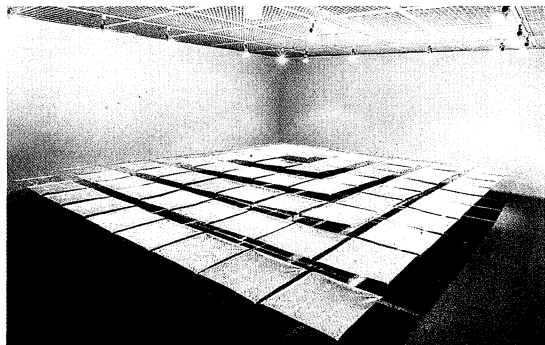
■ 出品作家

- | | | |
|--------|-------|-------|
| 石田 智子 | 草間 喆雄 | 久保田繁雄 |
| 熊井 恭子 | 小林 尚美 | 小林 正和 |
| 佐久間美智子 | 榛葉 蒼子 | 車 季南 |
| 徳重恵美子 | 中村 木美 | 吉田 晃良 |
| 吉村 正郎 | | |

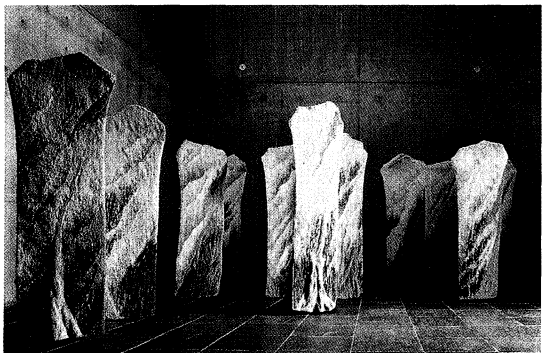
観覧料	一般・大学生 720円(560円)
	高 校 生 510円(410円)
	小・中学生 360円(250円)
	※ () 円は20名以上の団体料金
休館日	毎週月曜日・2月12日(金)



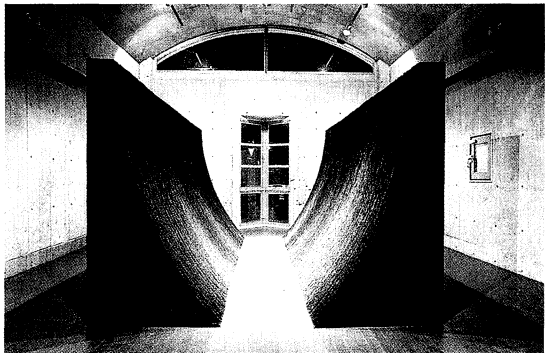
熊井恭子「AIR」



吉田晃良「Surface of the Lake, 1993」



佐久間美智子「BREATHING」



車季南「Flowing」